

**概要** 自然・歴史的な景観の保全，市街地のきめ細かな景観づくりを推進し，個性的で美しい景観を形成する。

**総合評価**

C

客観指標評価は，主指標及び2つの準指標ともに，前年度と同水準であり，傾向としてどちらとも言えない。また，これらの成果を示すと考えられる市民生活実感評価もどちらとも言えないことから，総合的には施策の目的はそこそこ達成されていると評価する。

**この施策の客観指標評価**

客観指標総合評価: C

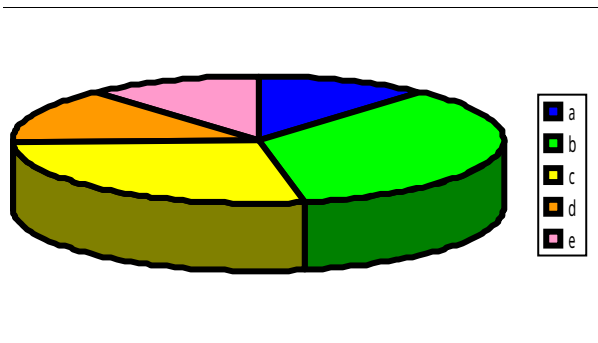
指標名とその前年値，現在値，目標値，達成度

評価

電柱の見えない歩道等の延長(無電柱化された区間の道路の延長km)	2.57	3.35	5.42	61.8%	c
(準)景観保全や整備に関する地区の指定数及び面積(数値は別掲)					c
(準)歴史的意匠建造物件数(件)	107	107			c

**この施策に関する市民生活実感評価**

京都の個性的なまちなみ景観が守られている。



答a: そう思う	47	11.5%
答b: どちらかというと思う	144	35.3%
答c: どちらとも言えない	112	27.5%
答d: どちらかというと思う 思わない	59	14.5%
答e: そう思わない	46	11.3%
有効回答数	408	
市民生活実感評価		C

**<参考> この施策実現のための主な事業**

**事業名**

- 美観地区等規制指導事務
- 界わい景観整備地区等助成事業
- 伝統的建造物群保存等事業
- 屋外広告物等の規制・啓発等事業
- 風致地区規制指導等事務
- 違法開発監察事務
- 自然風景保全地区規制指導等事業